

# 令和4年度事業実施報告

## 1. 事業実施報告

令和4年度事業計画に基づき、香川県、中央団体の支援・指導及び関係諸団体並びに会員との緊密な連携を保ち、次の諸事業を実施し、本県畜産の振興に努めた。

### 《公益目的事業》

#### (公1) 畜産の経営支援に関する事業

##### 1. 地域畜産支援指導等体制強化（地方競馬全国協会公募補助事業）

行政の補完業務の円滑な推進を図るとともに、会員及び関係団体との連携を密にし、畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化、地域畜産に対する理解醸成等畜産関連公益活動体制の強化、地域団体と連携協調体制の基盤強化及び地域一体型事業モデルの創出等の事業を実施し、本県畜産経営の安定に努めた。

##### 2. 肉畜経営安定対策補完事業

肉用牛経営では、繁殖雌牛の増頭、離島地域の肉用子牛集出荷等の推進に対する奨励金を交付し、養豚経営では、一代雑種雌豚の導入に対する奨励金を交付した。

##### 1) 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業） （（独）農畜産業振興機構公募補助事業）

地域における肉用牛の生産・改良基盤の育成・強化を図るため、中核的な繁殖経営農家の育成・支援のための増頭推進及び離島地域の子牛の流通活性化を図り、肉用牛経営安定対策を補完する取組支援を実施した。また、出荷時期の早期化に有効な強化哺乳技術に取組んだ肉用子牛生産者に奨励金を交付した。

区 分		内 容	奨励金 単 価	金 額	備 考
肉用牛生産基盤 強化対策事業	中核的担い 手育成増頭 推進	増頭推進 26頭	80,000円又は 100,000円	2,400,000円	香川県 農業協 同組合
地域の特色ある 肉用牛振興対策 事業	離島等子牛 流通活性化	集出荷 輸送費 57頭	小豆地区 (620円) 豊島地区 (1,110円)	52,000円	
強化哺乳技術を 活用した早期出 荷支援事業	肉用子牛の 発育向上及 び早期出荷 推進	早期出荷 42頭	6,000円	252,000円	

## 2) 生産基盤拡大加速化事業（(一社)全国肉用牛振興基金協会委託事業）

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛を増頭した場合に増頭実績に応じた奨励金の交付を実施した。

区 分	奨励金単価 (千円)	頭 数 (頭)	金 額 (円)	備 考
東讃畜産クラスター 協議会	246	8	1,968,000	奨励金単価について は、飼養規模により 50頭未満の経営体 246千円 50頭以上の経営体 175千円
	175	0	0	
中讃和牛改良組合	246	1	246,000	
	175	13	2,275,000	
西讃和牛改良組合	246	11	2,706,000	
	175	0	0	
合 計		33	7,195,000	

## 3) 養豚経営安定対策補完事業（(独)農畜産業振興機構公募補助事業）

地域肉豚能力向上支援

生産集団において産子数の向上により生産コストの低減を図るために必要となる一代雑種豚の導入を支援し養豚経営の体質強化を図った。

区 分	内 容	導入 頭数	金 額	備 考
地域肉豚能力向上 支援	ハイコープ豚の導入により肉豚の生産性向上を図る。	77頭	1,540,000円	産直豚生産 流通部会

## 3. 畜産特別資金等推進指導事業（(公社)中央畜産会補助事業）

香川県畜産特別資金借受者支援協議会を開催（2回）し、資金償還終了農家の経営内容の調査・分析等を行い、改善上必要な事項について指導を行うとともに、指導者のスキルアップのためのセミナーを開催した（1回）。

## 4. 畜産リース指導事業

（(公財)畜産近代化リース協会受託事業、(公社)中央畜産会受託事業）

畜産農家が（公財）畜産近代化リース協会とのリース契約により導入した機械の保守管理状況の調査指導や事業の啓発普及に努めた。また、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）、畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業の窓口団体として（公社）中央畜産会からの委託を受け事業推進業務を実施した。

## 5. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産経営を巡る情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成・発展、地域の畜産基盤の維持を図るため、畜産経営者、会員および畜産関

係団体に対して経営改善支援、実態調査、情報収集及びホームページによる畜産経営技術、畜産情勢、新技術に関する情報を提供した。

### 1) 畜産経営技術高度化事業（独自事業）

高度化する生産・経営技術に対応した支援指導を行うため、支援指導体制を整備し、畜産経営をめぐる情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図るため畜産経営技術の支援指導、ホームページによる県内畜産経営関係情報の提供を行い、本県畜産の発展に努めた。

区 分	内 容
畜産経営関係情報のデータベース化	ホームページ「かがわ畜産ひろば」の運用、情報の収集・蓄積

### 2) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査

（（公社）中央畜産会受託事業）

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査として、2戸の調査を行った。

### 3) 生産技術情報提供事業（生産技術情報の収集業務）

（（公社）中央畜産会受託事業）

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータ収集及びデータの分析結果に基づく助言指導を行った。

実施戸数：10戸（肉用牛繁殖経営）

## 6. 畜産関係団体調整機能強化事業（（公社）中央畜産会受託事業）

県行政と緊密な連携のもと厳しい畜産環境に対処するため、畜産関係団体と連携し、県内畜産の活性化を図った。

- ① 畜産関係団体の機能強化のため、関係団体による讃岐牛等枝肉共励会等に協賛した。
- ② 畜産生産者の相互連携と体制強化のため、畜産生産者特に和牛関係団体間の相互連携、活性化及び第12回全国和牛能力共進会に向けた活動の充実を図るための「和牛研修会」を開催した。
- ③ 畜産生産者関係団体間の相互連携、活性化及び後継者育成、女性グループ活動の充実を図るための「讃岐畜産仲間づくり発表大会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響でやむなく開催を中止した。
- ④ 畜産経営相談窓口整備を設置し、生産者からの各種相談、助言、指導に応じるため各種研修会に参加した。また、GAPやHACCPの構築指導を行った。
- ⑤ 畜産女性のグループ化を進め、讃岐畜産女性の会を開催するほか、第21回讃岐畜産女性の会牛枝肉展示共励会を坂出食肉卸売市場において開催した。
- ⑥ 畜産物の展示・試食・販売を通じ、畜産に求められる消費者ニーズの把握する

ための「香川県畜産フェア」については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響でやむなく中止となった。

## 7. 畜産関係団体運営支援事業（香川県養鶏協会、香川県養豚協会）

香川県養鶏協会、香川県養豚協会からの事務局業務を受託した。

## （公2）畜産の価格差補填に関する事業

### 1. 肉用子牛生産者補給金制度（基金事業、（独）農畜産業振興機構補助事業）

#### 1) 肉用子牛価格安定事業

牛肉の輸入情勢の変化が肉用子牛の価格等におよぼす影響に対処するため、肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る制度で、令和4年度は、第7業務対象年間（令和2年度～令和6年度）の3年目として事業を実施した。

#### ① 令和4年度生産者積立金造成状況

（単位：頭、円）

品種区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
				生産者(1/4)	香川県(1/4)	農畜産業振興機構(1/2)
黒毛和種	1,344	1,600	2,150,400	537,600	537,600	1,075,200
その他の肉専用種	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	185	6,800	1,258,000	314,500	314,500	629,000
交雑種	4,469	3,200	14,300,800	3,575,200	3,575,200	7,150,400
合計	5,998	—	17,709,200	4,427,300	4,427,300	8,854,600

#### ② 令和4年度生産者補給金交付状況

（単位：頭、円）

区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
交付頭数		0	0	97	0	0
交付金額	補給交付金	0	0	2,334,700	0	0
	生産者積立金	0	0	0	0	0
	合計	0	0	2,334,700	0	0

## 2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

本事業については、事務委託先2団体（香川県農業協同組合、（一社）香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、肉用子牛生産者補給金制度の推進と事務処理業務の効率化等を図った。

また、事業の円滑な運営のため、普及啓発、調査指導等を行った。

## 3) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

肉用子牛生産の安定のための基金に加入し、肉用子牛の生産基盤の維持・強化を図るため、畜舎環境の改善等に取り組む肉用子牛生産農家や産地強化に取り組む和子牛生産者に対し、肉用子牛の取引の全国平均価格が一定水準を下回った場合に奨励金を交付する事業であるが、令和4年度は、下表のとおり契約生産者に対し奨励金を交付した。

### ① 経営改善推進対策に係る奨励金交付状況

（令和4年6月分～12月分）

（単位：頭、円）

品種区分	発動基準価格 A 〔奨励金単価〕 〔1万円/頭〕	発動基準価格 B 〔奨励金単価〕 〔3万円/頭〕	交付頭数	交付金額
黒毛和種	600,000	570,000	0	0
乳用種	180,000	170,000	55	1,650,000
交雑種	300,000	290,000	0	0
合 計			55	1,650,000

### ② 和子牛産地強化推進対策に係る奨励金交付状況

（令和4年9月分～12月分）

（単位：頭、円）

品種区分	発動基準価格 A 〔奨励金単価〕 〔1万円/頭〕	発動基準価格 B 〔奨励金単価〕 〔1万円/頭〕	交付頭数	交付金額
黒毛和種	600,000	570,000	0	0
合 計			0	0

## 4) 和子牛生産者臨時経営支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

肉用子牛生産の安定のための基金に加入し、肉用子牛生産基盤の安定を図るため、肉用子牛の出荷月齢の早期化等に取り組む和子牛生産者に対し、和子牛の取引価格の平均価格が一定水準を下回った場合に販売された和子牛を対象として、支援交付金を交付する事業であるが、令和4年度については、交付実績はなかった。

令和4年度和子牛生産者臨時経営支援交付金交付状況 (単位：頭、円)

区 分	黒毛和種	その他の肉専用種	合 計
発動基準	600,000	350,000	—
交付頭数	0	0	0
交付金額	0	0	0

2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度

((独) 農畜産業振興機構交付金事業・委託事業・香川県助成事業)

1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的に、畜産経営の安定に関する法律第3条の規定に基づく肉用牛肥育経営安定交付金制度として、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額分の9割((独) 農畜産業振興機構交付金3/4、生産者積立金、県助成金により造成した肥育安定基金1/4)を交付金として交付した。

令和4年度は、第2業務対象年間(令和4年度～6年度)の1年目として事業を実施し、下表のとおり契約生産者に対し交付金を交付した。

なお、第1業務対象年間は、令和3年度で4カ年の業務対象年間で終了したので、品種毎に区分経理している肥育安定基金の残高について、契約生産者及び生産者積立金の助成を受けた香川県にそれぞれ返還を行った。

①肥育牛交付金交付状況

令和3年度事業(令和4年1月精算払～3月) (単位：頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭 数	0	437	24	461
金 額	0	5,471,187	620,401	6,091,588

令和4年度事業(令和4年4月～令和5年1月概算払) (単位：頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭 数	1,004	3,423	59	4,486
金 額	27,364,741	71,781,592	2,455,925	101,602,258

② 第1業務対象年間(平成30年度～令和3年度)終了に係る積立金等の返還額

(単位：円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
契約生産者	33,120,464	115,944,333	6,639,591	155,704,388
香 川 県	718,380	2,784,300	106,738	3,609,418
返 還 額 計	33,838,844	118,728,633	6,746,329	159,313,806

## 2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度推進事業

本事業の推進、個体登録・販売申出、積立金納入、肥育牛交付金交付業務等について、事務委託先2団体（香川県農業協同組合、（一社）香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て推進を行った。

## 3. 肉豚経営安定交付金制度（生産者受託事業）

県内の肉豚経営安定交付金制度に参加する養豚事業者等に対し、事業内容の周知を行うとともに事業参加のための書類作成支援等を行った。

参加農家：8戸、販売頭数：24,002頭

# （公3）家畜の生産衛生に関する事業

## 1. 家畜生産農場衛生推進事業

県下における家畜伝染性疾病の発生・流行防止のため、畜産農場における家畜疾病の清浄化への組織的な取り組みの支援や指定する獣医師による予防接種を実施した。

### 1) 家畜生産農場衛生対策事業（国公募補助事業、独自事業）

生産農場における疾病の清浄化及び流行予防のため、ワクチン接種推進に係る策定会議を開催し接種計画等を策定するとともに、吸血昆虫媒介疾病予防のためのワクチン接種の推進や家畜防疫の実施のための経費助成等を行った。

- (1) 牛伝染性リンパ腫及び牛ウイルス性下痢の感染拡大防止を図るための防疫推進検討会 4回 参集人員 56名
- (2) ワクチン接種計画策定会議 1回 参集人員 14名
- (3) 牛伝染性リンパ腫及び牛ウイルス性下痢対策  
実施農場における
  - 牛伝染性リンパ腫検査 (牛53農場・1,496頭)
  - 牛ウイルス性下痢検査 (牛53農場・545頭)
- (4) 吸血昆虫の忌避・駆除対策 (牛24農場)
- (5) 牛異常産予防接種実施状況

(単位：頭)

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
牛	牛異常産3種混合	50	29	0	29	58
	牛異常産4種混合	4,000	2,383	1,576	3,959	99
	牛アカバネ病	0	0	0	0	0

## 2) 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域農場 HACCP 認証支援事業）

（（公社）中央畜産会助成事業）

農場 HACCP の構築に取り組む農場（酪農 2 戸、肉牛 5 戸、養豚 3 戸、採卵鶏 1 戸、肉用鶏 1 戸）に対して、農場 HACCP 認証基準に基づき指導員による農場 HACCP の構築指導を行い、県内の農場 HACCP 取組の中核となる農家への支援を行った。

うち酪農 1 戸、肉牛 1 戸（2 農場）が農場 HACCP 認証農場となった。

## 3) 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域自衛防疫推進事業及び地域疾病対策事業）

（（公社）中央畜産会助成事業）

県内伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動の有効な方策、特定疾病発生・拡大防止に関する検討等を行うとともに、生産者段階での牛 E B L の清浄化の推進等を実施した。

### (1) 地域自衛防疫推進事業

地域自衛防疫取組促進会議	4 回	書面開催、通常開催
香川県家畜伝染病防疫演習（鳥インフルエンザ）		採材訓練
情報伝達訓練（実地演習）		机上訓練
野生イノシシ処理訓練（実地演習）		焼却、埋却演習

### (2) 地域疾病対策事業（牛マイコプラズマ乳房炎）

県内酪農家のバルク乳を用いて P C R 検査を実施した。

1 回目 58 農場 2 回目 57 農場 全戸陰性

## 4) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（（公社）中央畜産会助成事業）

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、競走馬以外の乗用馬等の馬インフルエンザワクチン接種の推進を実施した。

(1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催	1 回	参集人員	7 名
(2) 馬インフルエンザワクチン接種の推進		接種頭数	4 7 頭

## 5) 野生獣衛生推進体制促進事業（家畜衛生対策推進協議会助成事業）

野生獣による家畜への伝染病の伝播や人獣共通感染症の浸潤等の防止を図るため、県内の家畜衛生関係者等を中心とした畜産分野での情報発信体制を構築・整備するとともに、野生獣の衛生実態等調査等を行った。

野生獣衛生地域対策推進モデル事業

(1) 地域衛生技術連絡協議会等の開催	4 回	参集人員	4 6 名
(2) 野生獣の衛生実態等調査	シカ 1 0 頭、イノシシ 2 0 頭	合計	3 0 頭
(3) 調査対象			

シカ — ウイルス等抗体検査及び重金属等 1 1 項目

イノシシ — ウイルス等抗体検査及び重金属等 1 4 項目

## 6) 馬飼養衛生管理特別対策事業（(公社)中央畜産会助成事業）

競走馬以外の馬の飼養衛生管理体制の総合的な整備を図るため、地域馬飼養衛生管理体制整備委員会、馬飼養衛生管理技術地方講習会を開催し、地域馬獣医療実態調査等を実施した。

- (1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回 参集人員 8名
- (2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回 参集人員 10名
- (3) 地域馬獣医療実態調査 県下馬飼育者24戸 (内、回答戸数13戸)

## 7) 特定疾病自衛防疫推進事業（独自事業）

牛・豚の各種疾病（牛ヘモフィルス、牛下痢5種混合、豚丹毒、日本脳炎等）の発生予防のため、指定する獣医師により予防接種を実施した。

(単位：頭)

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
豚	豚丹毒（生）	3,000	98	3,015	3,113	104
	日本脳炎（生）	0	0	0	0	0
	日本脳炎（不活化）	40	2	26	28	70
	日本脳炎・豚パルボ混合	140	0	135	135	96
	日脳・パルボ・ゲタ	700	32	1,000	1,032	147
	TGE・PED混合	80	49	0	49	61
牛	牛イバラキ病	1,200	821	322	1,143	95
	牛流行熱・イバラキ病	0	0	5	5	100
	牛5種混合（生）	1,900	434	470	904	48
	牛5種混合（不活化）	10	0	0	0	0
	牛6種混合（生）	80	18	40	58	73
	牛6種混合（生＋不活化）	0	0	3	3	100
	牛ヘモフィルス	540	344	2	346	64
	牛RSウイルス感染症	140	0	136	136	97
	牛大腸菌性下痢症	10	0	0	0	0
	牛下痢5種混合	530	229	282	511	96
	牛マンヘミア・ヘモリチカ	260	39	230	269	103
	牛クロストリジウム・ボツリヌス感染症	500	599	0	599	120
	牛IBR・牛パラインフルエンザ混合（鼻腔内投与型）	0	0	0	0	0
	牛IBR・牛パラインフルエンザ・牛RS混合（鼻腔内投与型）	120	124	219	343	286

指定する獣医師

区 分	指定人数
公益社団法人香川県獣医師会	4 名
香川県農業共済組合	24 名
計	28 名

2. 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国公募補助事業）

死亡牛の円滑な処理及びBSE検査を推進し、県内で死亡しBSE検査を実施した牛の所有者に対し処理経費等の助成を行った。

死亡牛検査処理安定化対策 処理頭数：81頭

3. 家畜防疫互助基金支援事業（(公社)中央畜産会受託事業）

口蹄疫、豚熱等が発生した場合に備え、発生時の経済的損失を互助補償する互助基金の仕組み等について周知、参加促進を図った。

生産者積立金造成状況

(単位：戸、頭、円)

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者	
				積立金単価	積立金計
牛	乳牛（24ヶ月齢以上）	164	3,927	245	962,115
	乳牛（24ヶ月齢未満）		846	90	76,140
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢以上）		1,875	235	440,625
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢未満、子牛を含む）及び肉専用種肥育牛（子牛を含む）		7,271	125	908,875
	交雑種肥育牛		10,620	95	1,008,900
	乳用種肥育牛		1,355	90	121,950
豚※	繁殖用種豚（雌）	9	2,130	375	798,750
	繁殖用種豚（雄）		99	375	37,125
	肥育豚		17,700	105	1,858,500
合 計		173	45,823	—	6,212,980

※家族型

## (公4) 畜産及び畜産物の普及啓発に関する事業

### 1. 讃岐三畜銘柄確立総合対策事業（讃岐三畜銘柄化推進協議会補助事業）

讃岐三畜（讃岐牛・オリーブ牛、讃岐豚・オリーブ豚・オリーブ鶏、オリーブ地鶏）の銘柄確立を一体的・効率的に推進するため、推進協議会を開催して讃岐三畜販売促進のための企画調整等を行い、県内外イベント等への参加、讃岐三畜を利用した料理教室の開催、ホームページを活用した讃岐牛生産農家情報の開示などに取り組み、県産特産畜産物として認知度を高めるとともに、流通消費拡大に努めた。

### 2. 牛乳乳製品消費促進事業（独自事業）

牛乳消費拡大看板の作成、牛乳・乳製品消費啓発用パンフレットの配布、年末年始および春休み・GWの生乳廃棄を回避するための消費拡大PR活動、料理教室での牛乳消費拡大PR活動を実施した。

牛乳乳製品消費促進イベント「ミルクメッセ 2022in かがわ」については、コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止とした。

### 3. 学校給食用牛乳供給推進事業（国公募補助事業）

国内産牛乳を学校給食用へ年間を通じて安定的かつ効率的な供給の推進に努めた。

#### 1) 学校給食用牛乳供給円滑化推進事業

学校給食用牛乳の供給についての共通認識等を醸成し、地域の特性を踏まえた供給の効率化を推進するため、推進会議等を開催した。

区 分	回 数
学校給食用牛乳供給円滑化推進会議	2回
学校給食用牛乳供給円滑化推進会議による実態調査	1回

#### 2) 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

学校給食用牛乳の安定的な需要の確保、保護者負担額の軽減を図るため、遠隔地、離島など供給条件が不利な地域を対象に輸送費等のかかりまし経費の一部について、供給数量に応じ供給業者に交付した。

供給本数	事業対象区域	助成金額
14,179,371本	東かがわ市、さぬき市、高松市、坂出市、綾歌郡、丸亀市、善通寺市、仲多度郡、三豊市、観音寺市、小豆島町、土庄町、直島町	6,664,296円

## 《収益事業等》

### （他 1）その他畜産振興に関する事業

畜産経営の安定・合理化の推進等により畜産振興に資するため、会員および畜産関係団体相互の連携、協調を強化する事業を行った。

- ・会員である市・町及び農業協同組合等の開催する畜産共進会・肉牛枝肉共励会・乳質改善共励会等に協賛し、賞状・賞品を提供した。
- ・畜産指導機関と連携して畜産振興に関する技術の普及に努めた。
- ・畜産経営技術等に関する指導資料を定期的に会員・畜産関係団体等に配布し、畜産情勢・新技術等に関する情報の提供を行った。